



第43回 関西学院史研究会

# 院長に求められるもの

— 院長職の過去・現在・未来 —

ランバス、吉岡、ニュートン、ベーツ、と半ば建国神話のように語られる院長の物語。  
しかし院長職が持つ意味は、決して明瞭ではないゆえに、学院史の中で繰り返し  
問い直され、時には廃止の検討さえなされました。

ルーツを異にする学校が一つになった大組織である今の関西学院にとって、  
「院長」が果たす機能とは何なののでしょうか。院長職の歴史を少したどりながら、  
新しい学院にふさわしい院長像を考える時を持ちたいと思います。

● 講 師 ●

## 辻 学 氏

広島大学大学院 総合科学研究科  
社会文明研究講座 教授  
関西学院学院史編纂室共同研究・研究員

2015 **7/24** (金) 14:00～15:30

吉岡記念館 2階第1研修室(西宮上ヶ原キャンパス)

無料・一般参加歓迎・申込不要

主 催

関西学院 大学博物館 学院史編纂室

0798-54-6022